

釣果を持ってバスに乗り、帰路で寝てしまったんです。急ブレーキの瞬間でした。ビニール袋の中身が全部、通路に流れ出しました。バスの中で淀川の再現です(笑)」

理解ある家庭で、高校生の頃にはなんと16基もの水槽を家中に並べ、本格的な研究を行った。そして、今では天然記念物にも指定されている、当時から希少であった魚の繁殖に成功し、全国の水族館に提供するという離れ業まで成し遂げた。

淀川と離れたくない

大学進学後、大好きな水生生物の研究を続けながらも、将来の職を選ぶ時がやってきた。選択肢の一つは、水族館で働くこと。しかし、可能性のある場所は遠い四国の地。迷った末に導いた答えは「淀川と離れたくない」だった。その後、恩師からの助言もあり、理科教員の道を選んだ。

見て・嗅いで・触れる

中学校教員として教壇に立つ河合さんは、淀川で捕まえた生物を、実際に授業の場で子ども達に披露する。見て、嗅い



1 深いところでは胸まで水につかり、ヨシのたもとを狙う
2 すくい上げた網の中には、エビや小魚がいっぱい
3 半透明の身体に、長い手(歩脚)が自慢のテナガエビ
4 出世魚スズキの子どももいましたよ

で、触れる。バーチャルリアリティが日々進化する世の中に対し、実物から五感で感じることの大切さを伝え続けている。

「夏に行くと、春に見たヨシの背が高く伸び、稚魚達が大きく成長している。川には、たくさんの発見や季節の変化がある。そんな川の自然の魅力、そこに健気に生きる小さな命を子ども達に感じてもらいたい。そして、そのように自然と触れ合った子ども達は、決して自然を汚さない」。

川と共に生きる

淀川好きが高じ、現在は淀川が見渡せる自宅で奥さまと次女と3人暮らし。数年前に訪れる退職後の道を尋ねた。「環境保全や、川の語り部、色々な形で淀川に携わっていきたい。でも、落ち着いたら日本中の川を旅してみるのもいいかな」。川を見つめる河合さんの瞳が、水面のようにキラキラと輝いた。

淀川の自然みい〜つけた!

淀川の住人たち

ヤマトンジミ

ヨシ

河合先生の
投網も
見られるよ!

集まれ〜
よどっ子〜!

アシハラガニ

干潟に学ば! 干潟で遊ば!

干潟に住む多様な動植物とふれあう事で、淀川の自然を守る事の大切さを伝えます。また、川の素晴らしさだけでなく、洪水や地震による津波など、川の危険性について学びます。

日時 8月1日(土) 13:00~16:00 雨天中止 **場所** 十三干潟(淀川河川敷)

※天候によっては、主催者側の判断により、中止や時間に変更が生じる場合があります。

対象 区在住の小学生(小学3年生以下は必ず保護者同伴でお願いします)

定員 50名(申込多数の場合は抽選)

申込 メールにて、higata@city.osaka.lg.jpあて『件名:干潟自然学習会申込・住所・参加者全員の氏名・フリガナ・学年・年齢・電話番号』をご記入のうえ送信してください。7月13日(月)必着。※抽選結果は7月22日(水)に通知します。

主催 淀川区役所・辻川河川レンジャーアドバイザー

問合せ 市民協働課「干潟自然学習会」係4階41番 ☎6308-9734



▲Eメール

河川Rアドバイザーの辻川です!

川や干潟はとっても楽しい場所だけど、大切な自然の宝庫。豊かな淀川を守るために、必ずマナーは守りましょう。また絶対に子ども達だけで遊びに行かないようにしましょう。